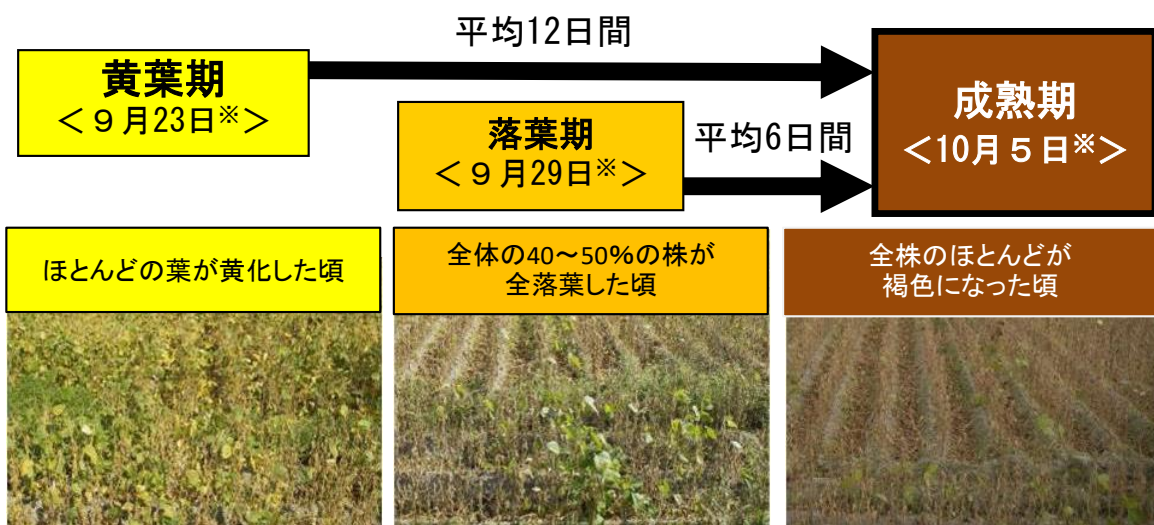
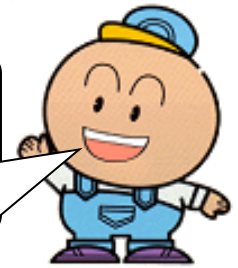


「黄葉期」や「落葉期」を基に「成熟期」を予想し、早めに収穫・乾燥作業の準備を行いましょ。



まず生育ステージを的確に見極め、作業計画を策定！



刈遅れに注意！

立毛中の裂莢やしわ粒の増加、子実の光沢が低下するとともに、紫斑病の発病を助長するので、適期内収穫に努める！

収穫時期判定の目安（エンレイ）※日付は H21~30 県生育観測圃の平均
注）シュウレイの収穫はエンレイの一週間後が目安です。

1 収穫前の準備

- 汚損粒発生防止のため、事前に雑草や青立ち株を抜き取りましょ。
- 帰化アサガオ類やイヌホオズキ類等は、種子を残さないよう、抜き取った株は放置せず、圃場外で適切に処分ましょ。また、種子が機械に付着して広がらないよう、発生圃場の収穫作業は最後にまわましょ。



帰化アサガオ類
(マルバルコウ)



イヌホオズキ

2 収穫開始時期

圃場内のほとんどの莢が褐色（赤枠内）になった頃を目安に、収穫を開始ましょ。



登熟状況は、播種時期や生育量により差が大きいので、圃場毎に生育ステージを確認ましょ。

莢色は明るい褐色、子実は球形、子実の硬さは爪跡が軽くつく程度

3 収穫時の留意点

- 収穫時刻は日中（午前10時～午後4時）とし、脱穀部や排出部のつまりを防止ましょ。
刈始めに、コンバイン刈取り高さ（地際から 10cm 程度）をチェックし、土や石が混入しないようにましょ。
- 作業速度は人がゆっくり歩く速さ（0.4~0.5m/秒程度）で行い、収穫時のロスを少なくましょ。
- 黒根腐病が発生した圃場は早期に落葉するため、刈遅れないように注意ましょ。また、発病により小粒化するとともにしわ粒が増加することから、別刈りを行いましょ。
病害の蔓延を防ぐため収穫作業は無発生ほ場から行い、収穫作業後は機械を洗浄ましょ。

4 乾燥作業

- 急激な乾燥はしわ粒や皮切れ粒の発生原因となるので、『気温+5℃以内』の送風温度、平均毎時乾減率は0.3%/hr 以下で実施ましょ。
- 子実水分は14%を目安に仕上げましょ。

5 収穫後の圃場管理

- 大豆収穫後の豆殻や茎は早めにすき込み、腐熟促進と地力増強に努めましょ。
- 畦畔や農道での帰化アサガオ類等の発生に注意し、結実前に除去ましょ。また、難防除雑草の発生が見られた圃場を記録し、除草剤の選定や機械作業の順序等の計画に反映ましょ。

○栽培履歴簿は全て記入し、必ず各営農経済センターへ提出して下さい。

○共同乾燥調製施設利用の際は、収穫前に各営農経済センターへお問い合わせ下さい。